

# 川の安全利用に向けた取り組み

## 「川の安全利用学習会～太平小学校～」を開催しました！（7月1日）

7月1日（火）の「川の安全利用学習会」に太平小学校4年生の児童69名と先生3名が参加しました。創成川の河川敷で、川のかたちや川に近づく時の注意点・危険なところを学ぶ「川の危険箇所学習」、創成川およびその他の川の水質を調べる「水質学習」、創成川に棲む魚類や水生昆虫・鳥類を学ぶ「水辺の生き物学習」を実施しました。

### ● 実施内容

#### □ 川の危険箇所学習



コンクリートの表面は滑りやすく転落などの危険があります。



川の深さは場所によって急変し、見た目では分かりません。



水面を覆っている水草で川の中が見えにくくなっています。



ルールを守って事故にあわないようにしましょう。

#### □ 水質学習



創成川と学校周辺を流れる川の水質を簡易測定キットを使って調べました。



調べた結果から、川が「きれい」か、「よごれている」のかパネルを見て学習しました。

#### □ 水辺の生き物学習



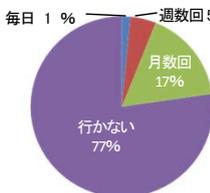
創成川に生息する魚や水生昆虫をパネルで学び、実際に捕獲した生き物を観察しました。



創成川周辺にはどのような鳥がいるのかをパネルで学び、鳥の鳴き声(CD)を聴きました。

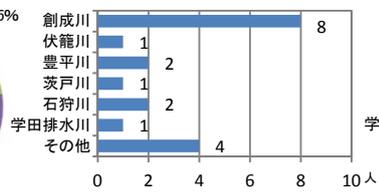
### ● アンケート調査

#### ● 普段、川に行きますか？

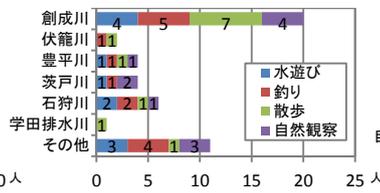


回答数：66人

#### ● どの川に行きますか？

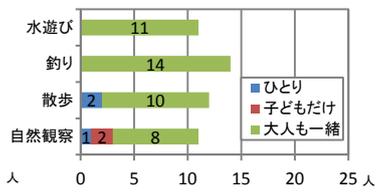


#### ● 川に行って何をしますか？

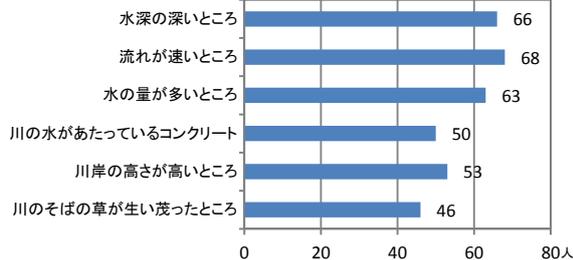


回答数：15人（複数回答「川に行かない」の回答を除く）

#### ● 誰と川に行きますか？



#### ● 川のどこが危険だと思いますか？（回答数：68人複数回答）



アンケートの結果、「川に行かない」と答えた児童が多く、身近である創成川を含めて河川の利用は少ないようです。一方で、「川に行く」と答えた児童は多目的に利用していました。川に行く児童の多くは大人と一緒にいることから、危険性についてある程度理解しているものと思われます。また、今回の安全利用学習会を通じて、多くの児童に川の危険箇所を認識してもらえたことが分かります。今後は、児童達がルールを正しく守ることで、川と上手にふれあう機会が増えていくものと期待します。

### ● 学習会の感想

川の安全利用学習会を体験してみて「わかったこと」、「楽しかったこと」など、児童達・先生達に答えてもらいました。

- ★ 自分のひざの高さより高い所や、コンクリートに水があたってすべる所などが危ないということがわかりました。こんな川で遊ぶ時は、そのようなことにも気をつけながら楽しみたいと思いました。この学習をして川の中がとっても危険なんだなと思いました。いつか行くときは気をつけます。
- ★ いろいろな実験をやれたのしかった。
- ★ 知らない魚がいったりして楽しかったです。もっと魚が増えるといいなと思いました。
- ☆ 身近な創成川ですが、知らないことが多かったと思うので、子供たちにとっても自分たちにとっても『再発見』のたくさんある学習になりました。

★：児童 ☆：先生

### お問い合わせ先

国土交通省 北海道開発局 札幌開発建設部 札幌河川事務所 計画課  
〒005-0032 札幌市南区南32条西8丁目2番1号 TEL：(011) 581-3207



国土交通省